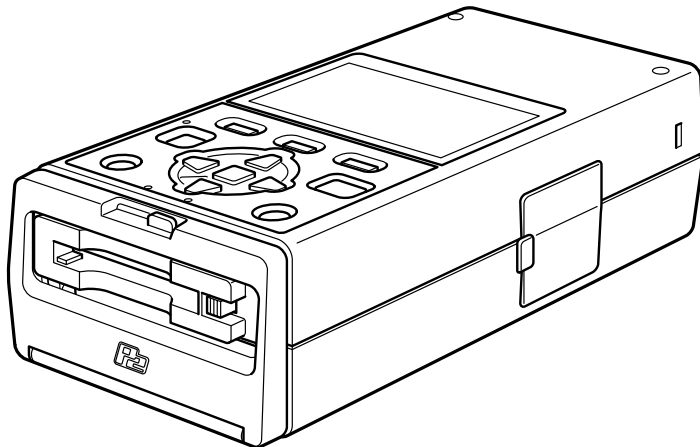


Panasonic®

取扱説明書

モバイルストレージユニット

品番 AG-MSU10



このたびは、“パナソニック製品”をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ご使用前に「安全上のご注意」（4～7ページ）を必ずお読みください。

■保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

目次

安全上のご注意 必ずお守りください	4
電源プラグの接地に関するご注意	7

はじめに

概要	8
付属品	8
別売品	8
使用上のお願い	9
本機について	9
インターフェースボックス AG-MBX10G について	10
AC アダプターについて	10
バッテリーについて	10
各部の名称	11
前面、後面	11
上面	12
側面	13

準備

バッテリーを充電する	14
バッテリー、電源コードを取り付ける、取り外す	15
バッテリーを取り付ける	15
バッテリーを取り外す	15
電源コードを取り付ける	15
電源コードを取り外す	15
電源の ON、OFF	16
電源を ON にする	16
電源を OFF にする	16
動作中の自動電源 OFF 対応について	16
カレンダー、時刻を設定する	17
P2 カードを挿入する、取り出す	18
P2 カードを挿入する	18
P2 カードを取り出す	18
誤消去を防ぐには	18
インターフェースボックスを取り付ける、取り外す	19
インターフェースボックスを本機に取り付ける	19
インターフェースボックスを本機から取り外す	19
インターフェースボックスをフォーマットする	20

各種操作

コピー画面の名称と機能	21
ストレージデバイスを選択する	23
P2 カード内の全クリップをコピーする	24
P2 カード内の全クリップをコピーする	24
クリップを選択してコピーする	26
サムネイル画面と各種操作について	26
P2 カード内のクリップをコピーする	31
ストレージデバイス内のクリップをコピーする	32
P2 カードをフォーマットする	33

接続

パーソナルコンピューターと接続する	34
本機を USB デバイスとして利用する	34
本機を eSATA デバイスとして利用する	34

セットアップ

メニュー一覧	35
THUMBNAIL	36
OPERATION	36

STATUS.....	37
SETTING.....	37
本機の情報を表示する.....	38
ログ情報.....	38
使用時間.....	38
ソフトウェアバージョン.....	38

インターフェースボックス

インターフェースボックスの準備.....	39
SSD (Solid State Drive) の取り付け.....	39
シリコンジャケットの取り付け.....	39
各部の名称.....	40
インターフェースボックスをパーソナルコンピューターに接続する.....	41

末永くお使いいただくために

内蔵電池について.....	42
エラーメッセージ.....	42
修理を依頼される前に.....	46
お手入れについて.....	46
結露.....	46
P2 カードのデータの取り扱いについて.....	47
保証とアフターサービス (よくお読みください).....	48
定格.....	49

- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation® の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh® は米国 Apple Inc. の登録商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本書内のイラストについて

- 本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

参照ページについて

- 本書では、参照ページを (→ 00 ページ) のように示しています。

用語について

- 「P2」ロゴがついたメモリーカード (別売の AJ-P2C064AG など) を「P2 カード」と記載しています。
- ハードディスクドライブ (Hard disk drive) を「ハードディスク」または「HDD」と記載しています。
- ソリッドステートドライブ (Solid State Drive) を「SSD」と記載しています。
SSD とは半導体記憶素子であるフラッシュメモリを使用した記憶装置のことを示します。
- 外部に接続するハードディスクや SSD およびインターフェースボックスを総称して「ストレージデバイス」あるいは「ストレージ」と示します。
- P2 機器により 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。




取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B




安全上のご注意 **必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



 危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています


 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…

	<ul style="list-style-type: none">■ 指定以外のバッテリーを使わない■ バッテリーの端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない■ バッテリーを分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、過熱、火中投入などをしてしない■ バッテリーを炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない （液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。） ⇒ ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。 ⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては 10 ページをご参照ください。 ⇒ 万一、液もれが起こったら、販売店にご相談ください。 液が身体や衣服に付いたときは、水ですぐ洗い流してください。 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none">■ バッテリーは、専用の充電器で充電する （指定以外の充電器で充電すると、発熱・発火・破裂を起こし、けがの原因になります。）

バッテリー充電器は…

	<ul style="list-style-type: none">■ 充電器は、専用のバッテリー以外の充電には使わない （液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。）
--	---



警告

バッテリーは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、直ちにバッテリーを外す
【内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき】
(そのまま使うと、火災・感電の原因になります。)
⇒ AC アダプターで使っている場合は、AC アダプターを外してください。
⇒ 販売店に相談してください

AC アダプターは…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、AC アダプターの電源プラグを抜く
【内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき】
(そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。)
⇒ AC アダプターを電源コンセントの近くに設置し、プラグに簡単に手が届くようにしてください。本機を電源から完全に遮断するには、電源コンセントからプラグを抜く必要があります。
⇒ お買い上げの販売店に相談してください



- 電源コードが破損するようなことはしない
【傷つける、加工する、高音部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど】
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に相談してください
- コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流 100 V ~ 240 V 以外での使用はしない
(たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。)

- 水などの液体をかけたりぬらしたりしない
(ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。)
⇒ 機器の上や近くに液体の入った花瓶などの容器や金属物を置かないでください。

- 専用の AC アダプター以外は使用しない
(定格外の AC アダプターを使用すると、火災の原因になります。)



- 分解や改造をしない
(内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)



- 水場で使用しない
(感電や火災の原因になります。)



- 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れない
(感電の原因になります。)






警告

 ぬれ手禁止	<p>■ ぬれた手で電源プラグに触れない (感電の原因になります。)</p>
	<p>■ 電源プラグは、根元まで確実に差し込む (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。) ⇒ 痛んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
	<p>■ 電源プラグのほこりなどは、定期的にとる (プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。) ⇒ 電源コンセントからプラグを抜き、乾いた布で拭いてください。</p>
本機は…	
	<p>■ 内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない (ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。) ⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。</p>
	<p>■ 不安定な場所に置かない (落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 改造をしない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ 指定のカバー以外は外さない (内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。</p>
付属品、オプションは…	
	<p>■ 付属品・オプションは、指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。)</p>
	<p>■ 付属品(取付ネジ)は、乳幼児の手の届く所に置かない (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。) ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。</p>

⚠ 注意

本機や AC アダプターは…

	■ 本機の放熱を妨げない 【押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない】 (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
	■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。本機を絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になります。)
	■ 油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない (電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。) (たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。)
	■ コードを接続した状態で移動しない (電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。) (また、コードが引っかかって、けがの原因になります。)
	■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)

パナソニック純正バッテリー (充電式電池) ご使用のおすすめ

平素よりパナソニック製品をご愛顧いただきましてまことにありがとうございます。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部海外で流通していることが判明しました。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をあらためておすすめいたします。

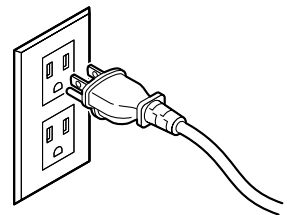
なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

・ 実際の品物を確認するのが難しい状態で購入したバッテリーや、異常な低価格で販売されているバッテリーの中には、模造電池が多く確認されていますのでお気をつけください。

電源プラグの接地に関するご注意

本機に付属されている AC アダプター用の電源コードは、接地端子を備えた 3 ピンのコンセントに接続してください。

海外で使用する場合は、その国に合った接地端子付電源コードを準備してください。



はじめに

概要

本機（AG-MSU10）は、市販のSSDを装着して使用するリムーバブルインターフェースボックス AG-MBX10G を搭載および外部デバイス接続用のUSB2.0端子（Type A）/eSATA端子を擁したP2カード（メモリーカード）専用のモバイルストレージユニットです。

本機は、P2カードカメラレコーダーなどで記録したデータを、本機に搭載するリムーバブルインターフェースボックスや外部に接続したハードディスクユニットなどのストレージ機器にコピーできます。

付属品

・ リムーバブルインターフェースボックス AG-MBX10G	1
・ バッテリー VW-VBD55 (5400 mAh)	1
・ バッテリー充電器	1
・ ACアダプター	1
・ ACコード（バッテリー充電器用）	1
・ ACコード（ACアダプター用）	1
・ USBケーブル	2
・ SSD取り付け用 3.0 mm 径ネジ	4
・ AG-MBX10G専用シリコンジャケット	1
・ CD-ROM （P2ドライバー、P2カードマネージャー、インストールマニュアル、取扱説明書（本書））	1

別売品

- ・ リムーバブルインターフェースボックス AG-MBX10G
- ・ バッテリー VW-VBD55 (5400 mAh)

使用上のお願い

本機について

■ メモリーカードやストレージデバイスを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピュータの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカードやストレージデバイス内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカードやストレージデバイス本体を物理的に破壊するか、市販のパーソナルコンピュータ用データ消去ソフトなどを使って、メモリーカードやストレージデバイス内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカードやストレージデバイス内のデータはお客様の責任において管理してください。

■ 設置場所について

本機を直射日光にさらされた場所に置かないでください。キャビネットの劣化や、液晶画面の損傷のおそれがあります。

■ 液晶について

- ・液晶部は 99.99 %以上の有効画素がありますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯（赤、青、緑）するものがあります。これは故障ではありません。
- ・表示映像によっては、画面にムラが発生する場合があります。
- ・液晶部を固い布で拭いたり、強くこすったりすると、表面に傷がつく原因となります。
- ・長時間静止画像を映したままにしておくと、一時的な残像（焼き付き）が発生する場合があります。
- ・液晶の応答速度や輝度は使用温度によって変化します。
- ・本機を、温度や湿度の高いところに長時間放置すると、液晶パネルの特性が変化し、ムラの原因となります。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

1. 本製品には、GNU General Public License (GPL)ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。ソースコードの入手については、下記のホームページをご覧ください。

<http://panasonic.biz/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容等についてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

2. 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらの内容については、本機に付属したインストール CD に収められています。「LDOC」という名前のフォルダーを参照してください（原文（英文）で記載しております）。

インターフェースボックス AG-MBX10G について

付属のリムーバブルインターフェースボックス AG-MBX10G は、「インターフェースボックスの準備」(→ 39 ページ) に記載されている取り付け方法に従って、市販の Serial ATA 接続 2.5 インチ SSD を取り付けで使用してください。

- ・ 当社において確認を行った SSD についての情報は当社ホームページに掲載しています。
(ホームページのアドレスについては「保証とアフターサービス」(→ 48 ページ) に記載しています。)
- ・ 本機へのインターフェースボックスの取り付け・取り外しのときには必ず本機の電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままの挿抜は故障の原因となります。
- ・ インターフェースボックスにはハードディスクドライブを取り付けないでください。

AC アダプターについて

付属の AC アダプターを使用してください。ご使用の際には、取扱説明書をよく読んでご使用ください。
→ 「電源コードを取り付ける」(15 ページ) を参照。

バッテリーについて

付属のバッテリー VW-VBD55 を使用してください。

不要になった電池(バッテリー)は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

使用済み充電式電池(バッテリー)の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ。詳細は、有限責任中間法人 JBRC のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ・ 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- ・ 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン

電池使用

Li-Ion

バッテリーの特性について

本機のバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度の影響を受けやすく、バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、たった 5 分ほどしかもちません。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

使い終わったら、必ずバッテリーを外してください

本機からバッテリーを確実に外してください。(付けたままにしておくと、本機の電源が切れていても、微量電流が消費されてしまいます。) 長期間バッテリーを付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

バッテリーの端子部を保護してください

バッテリーの端子部にほこりや異物が付かないようにしてください。

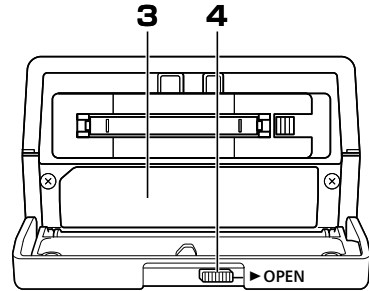
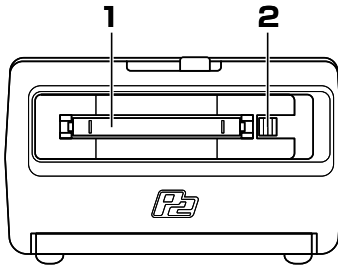
また、バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーを本機に入れたり、充電器に付けると、本機や充電器側を傷めることがあります。

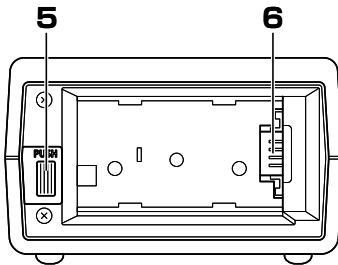
各部の名称

前面、後面

■前面



■後面



1. **P2 カードスロット**
P2 カード専用スロットです。
EJECT ボタンが押し込まれていることを確認し、P2 カードを水平にして挿入してください。
→「P2 カードを挿入する」(18 ページ)を参照。

◆ NOTE:

- ・ P2 カード以外の物は、絶対に挿入しないでください。

2. **EJECT ボタン**
P2 カードスロットに挿入した P2 カードを、取り出すときに使用します。
→「P2 カードを取り出す」(18 ページ)を参照。

3. **インターフェースボックススロット**
インターフェースボックス (AG-MBX10G) 専用のスロットです。インターフェースボックスを水平にして挿入してください。
→「インターフェースボックスを取り付ける、取り外す」(19 ページ)を参照。

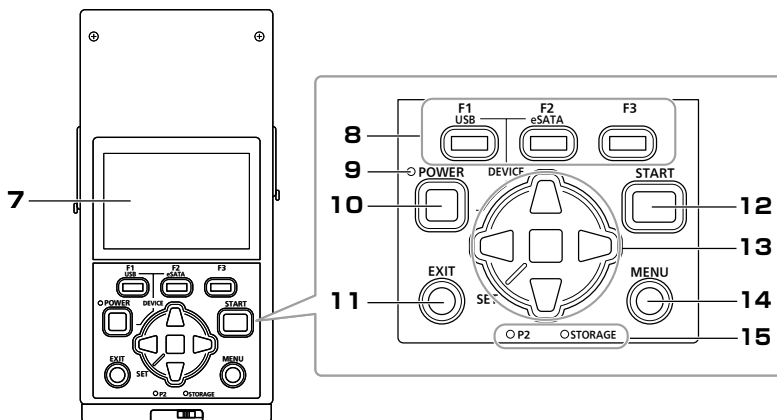
◆ NOTE:

- ・ インターフェースボックス以外のものは絶対に挿入しないでください。
- ・ インターフェースボックスは本機の電源を切った状態で出し入れしてください。

4. **フロントドアロックレバー**
スライドさせるとフロントのドアが開き、インターフェースボックスの取り付け、取り外しができます。
→「インターフェースボックスを取り付ける、取り外す」(19 ページ)を参照。

5. **バッテリーロック解除ボタン**
付属のバッテリーおよび AC アダプターを取り外すときに使用します。
→「バッテリーを取り外す」(15 ページ)を参照。

6. **電源装着部**
付属のバッテリーまたは AC アダプターを装着してご使用ください。
→「バッテリーを取り付ける、取り外す」(15 ページ)を参照。



7. 3.2 型液晶モニター

P2 カードやインターフェイスボックスの状態表示、サムネールの表示などを行います。

◆ NOTE:

- ・ バックライトの明るさを調整することができます。メニューから [SETTING] - [LCD BACKLIGHT] を選択して設定してください。
→ 「メニュー一覧」(35 ページ) を参照。
- ・ いずれかの操作を行った後一定時間 (5 分) が経過すると、自動的に液晶モニターの LCD を消すことができます。メニューから [SETTING] - [LCD TIMEOUT] を選択して設定してください。
→ 「メニュー一覧」(35 ページ) を参照。

8. ファンクションボタン (F1/F2/F3)

画面下に表示されるファンクションの操作に使用します。

9. POWER LED

電源 ON 時に点灯します。
電源 OFF 時の終了処理中は、点滅します。

10. POWER ボタン

電源を ON、OFF するボタンです。
電源 OFF 時、POWER ボタンを 1 秒以上押しと、電源が ON します。
電源 ON 時、POWER ボタンを 2 秒以上押しと、電源が OFF します。
→ 「電源の ON、OFF」(16 ページ) を参照。

11. EXIT ボタン

このボタンを押すことで、クリップのサムネールやプロパティ、ストレージデバイスのエクスプローラーなどの各種画面から一つ前の画面へ戻ることができます。また、メニューの [EXIT] で、SET ボタンを押した場合と同じ動作をします。

12. START ボタン

P2 カードのコピーを開始するボタンです。

13. 十字カーソル (上 / 下 / 左 / 右) ボタン / SET ボタン

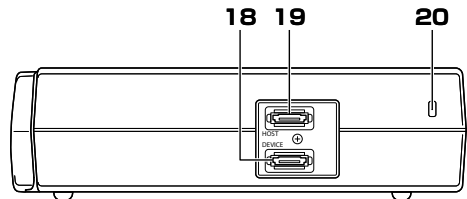
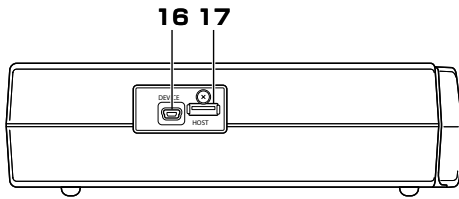
周辺の 4 つのボタンがカーソルボタンです。サムネール、メニュー、エクスプローラーなどのカーソルの移動などに使用します。中心のボタンが SET ボタンです。メニューの項目やクリップの選択などに使用します。
→ 「カーソル操作について」(28 ページ) を参照。

14. MENU ボタン

このボタンを押すと、メニューが表示されます。再度押しと、元に戻ります。
→ 「メニュー一覧」(35 ページ) を参照。

15. アクセス LED

P2:
P2 カード挿入状態で点灯、アクセス時に点滅します。
STORAGE:
インターフェイスボックスまたは外部接続ストレージのうち、現在コピー対象となっているものが接続されていれば点灯、アクセス時に点滅します。
→ 「接続」(34 ページ) を参照。



16. USB2.0 DEVICE 端子 (Type miniB)

USB デバイスモードで使用します。

パーソナルコンピューターなどと接続できます。

→「本機を USB デバイスとして利用する」(34 ページ) を参照。

17. USB2.0 HOST 端子 (Type A)

USB のホスト機器として各種ストレージデバイスを接続するときに使用します。

USB2.0 対応のハードディスクなどと接続できます。

→「ストレージデバイスを選択する」(23 ページ) を参照。

18. eSATA DEVICE 端子

インターフェイスボックスの eSATA 端子として、パーソナルコンピューターなどと接続できます。

→「本機を eSATA デバイスとして利用する」(34 ページ) を参照。

19. eSATA HOST 端子

ホスト機器として eSATA 端子を備えた HDD や SSDなどを接続することができます。

→「ストレージデバイスを選択する」(23 ページ) を参照。

20. セキュリティーロック穴

セキュリティー用ケーブルを取り付けることができます。接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。セキュリティーロックおよびセキュリティー用ケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。

◆ NOTE:

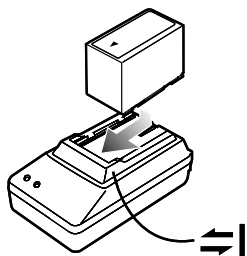
- eSATA で接続するストレージデバイスのうち、OS として LINUX をサポートしていないものは接続できない場合があります。
- eSATA のストレージデバイスによっては、接続して本機を起動すると時間がかかる場合があります。
- USB バスパワー (5 V, 0.5 A) にも対応していますが、ストレージデバイスによっては起動できないものもあります。その場合はストレージデバイスに別途電力を供給してください。
- 2 TB (2048 GB) 以上のストレージデバイスには対応していません。
- ストレージデバイスやケーブルによっては正しく動作しないことがあります。
- コピーに十分な容量のストレージデバイスをご使用ください。
- 電源が入っていないストレージデバイスであっても、ハブなどを介した複数台の接続は行わないでください。
- フォーマットやコピー中にケーブルを抜いたり、P2 カードを取り出したり、本機やストレージデバイスの電源を切ったりしないでください。本機およびストレージデバイスの電源の再起動が必要になります。また、P2 カードが壊れるおそれがあります。
- ストレージデバイスは非常に精密な機器ですので、使用状況によってはデータの読み書きができなくなるおそれがあります。ストレージデバイスの故障あるいは何らかの不具合によるデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接、間接の損害につきましては、当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機からのコピーで使用したストレージデバイスを、他のパーソナルコンピューターなどで中身を置き換えた場合、以後の本機での動作、およびストレージデバイスのデータは保証できません。
- 不良クリップが含まれる P2 カードは、事前に修復してからストレージデバイスへコピーすることをお勧めします。
- USB 変換ケーブルを介して接続された SATA (シリアル ATA) や、PATA (パラレル ATA) インターフェースのストレージデバイスは、認識できない場合があります。

準備

バッテリーを充電する

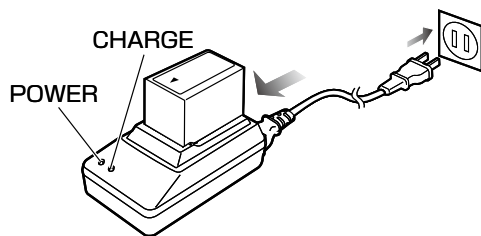
お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、付属の充電器で満充電を行ってください。

- 1 充電器のマークにそってバッテリーを水平に載せ、スライドさせる



- 2 ACコードを充電器に接続し、電源プラグをコンセントに接続する

- ・ 充電器の POWER ランプと CHARGE ランプが点灯し、充電を開始します。
- ・ バッテリーを取り付けたときに CHARGE ランプが点灯しない場合、バッテリーを取り付け直してください。



- ・ 充電が終わると、充電器の CHARGE ランプが消灯します。

- 3 バッテリーをスライドさせて取り外す

■ 付属のバッテリーの充電時間と使用時間の目安について

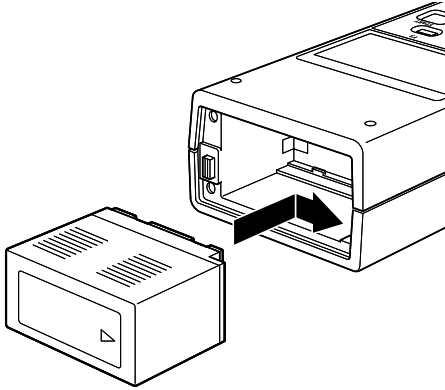
容量	5400 mAh
充電時間	約 330 分
連続コピー時間	約 400 分

- ・ 上の表は、E シリーズの P2 カードをリムーバブルインターフェイスボックス AG-MBX10G へ連続してコピーしたときの目安です。
- ・ 上の表は、動作周囲温度 20 °C、動作相対湿度 60 % での時間です。それ以外の温度や湿度では、充電時間が長くなることがあります。
- ・ バッテリーは、使用中や充電中には温度が高くなります。
- ・ バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするとき、もしくはバッテリーが長期間使用されず放電したままになっているときは、CHARGE ランプが数回点滅し、充電が自動的に始まります。
- ・ バッテリーが適温でも、CHARGE ランプが点滅し続けるときは、バッテリーに故障が起きている可能性がありますので、販売店にご相談ください。
- ・ バッテリーが温かいとき、充電時間は通常より長くなります。
- ・ 充電器や AC アダプターをラジオの近くで使用すると、ラジオの音がひずむ場合があります。充電器や AC アダプターとラジオは 1 m 以上離してお使いください。
- ・ 充電器の使用中に、充電器からノイズ音が出る場合がありますが、故障ではありません。
- ・ バッテリー VW-VBD33 (1500 mAh) は動作を保証していません。

バッテリー、電源コードを取り付ける、取り外す

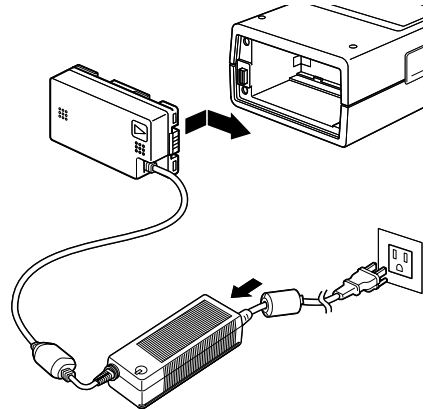
バッテリーを取り付ける

- 1 バッテリーをカチッという音がするまでスライドさせて取り付ける



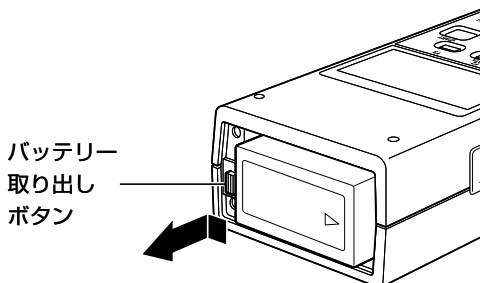
電源コードを取り付ける

- 1 AC コードを AC アダプターに接続し、電源プラグをコンセントに接続する
- 2 DC コードのプレートのカチッという音がするまでスライドさせて取り付ける



バッテリーを取り外す

- 1 POWER ボタンを 2 秒以上押して本機の電源を OFF にし、POWER LED が消灯したことを確認する
- 2 バッテリーロック解除ボタンを押しながらバッテリーを取り外す
・ バッテリーを落下させないように手で支えておいてください。



電源コードを取り外す

- 1 POWER ボタンを 2 秒以上押して本機の電源を OFF にし、POWER LED が消灯したことを確認する
- 2 バッテリーロック解除ボタンを押しながら DC コードのプレートを取り外す
- 3 AC コードをコンセントから抜く

◆ NOTE:

- ・ ACアダプターは全世界の電源電圧(100 V ~ 240 V)、電源周波数 (50 Hz、60 Hz) で動作するように設計されています。ただし、国によって電源コンセントの形状は異なります。その国に合ったプラグを準備してください。変換プラグはお買い上げの販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ・ 本機を使用しないときは、AC コードをコンセントから外してください。
- ・ AC コードをコンセントから外しても、AC アダプターの電源ランプがしばらくついたままですが、故障ではありません。

電源の ON、OFF

本機の電源には、付属のバッテリー、または AC アダプターをご使用ください。

→ 「バッテリーを取り付ける」(15 ページ) を参照。

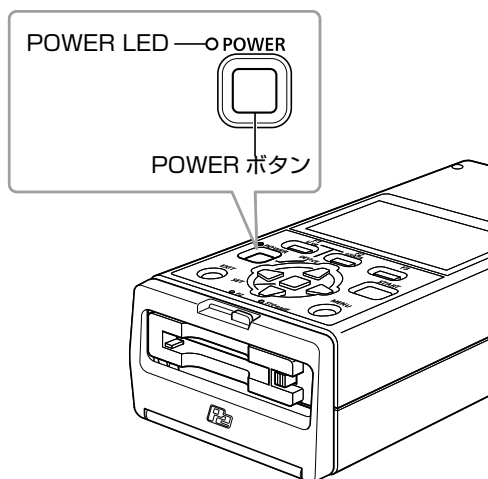
→ 「電源コードを取り付ける」(15 ページ) を参照。

バッテリーおよび AC アダプターが、本機に確実に接続できているか確認してください。各操作前には、電源を ON にしてください。また、操作後、使用しない場合には電源を OFF にしてください。

電源を ON にする

電源が OFF の状態で POWER ボタンを 1 秒以上押すと、電源が ON になります。

起動後は POWER LED が緑色に点灯します。



電源を OFF にする

電源が ON の状態で POWER ボタンを 2 秒以上押すと、電源が OFF になります。

POWER LED が消灯します。ただし、終了処理中は POWER LED が点滅します。

◆ NOTE

- ・ 低電圧エラーが発生している状態 (バッテリーマークが赤色) のときは、いったん電源を OFF にした後、充電したバッテリーに交換するか、AC アダプターに切り替え、再度、電源を ON にしてください。

動作中の自動電源 OFF 対応について

本機は、コピーおよびフォーマットなどの動作をしていない状態が、10 分経過すると自動的に電源が OFF になります。ご使用になるときは、再度電源を ON にしてください。

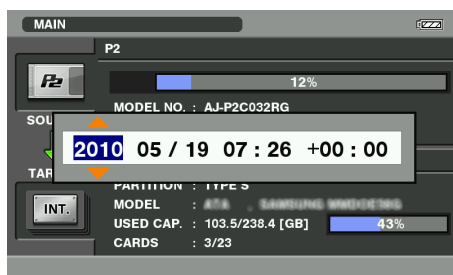
◆ NOTE:

- ・ 電源を自動的に OFF にするまでの時間を設定できます。メニューから [SETTING] - [AUTO POWER OFF] を選択して設定してください。
→ 「メニュー一覧」(35 ページ) を参照。
- ・ 本機を USB デバイスまたは eSATA デバイスとして利用しているときは、動作をしていない状態で放置しても、自動的に電源は OFF になりません。本機を使用しないときは、電源を OFF にしてください。

カレンダー、時刻を設定する

本機を使用する前に時計の設定を行います。

- 1 本機の電源を ON にする
- 2 MENU ボタンを押してメニューをひらく
- 3 十字カーソルボタンで [SETTING] - [CLOCK SET] を選択し、SET ボタンを押す
 - ・ 時計の設定画面が表示されます。(初期値は現在時刻)



- 4 十字カーソル (左 / 右) ボタンで設定したい部分にカーソルを移動する
 - ・ 年、月、日、時、分、Timezone の順で表示されています。
 - ・ Timezone では、グリニッジ標準時間からの時差を設定します。
→「Timezone 一覧」(このページ)を参照。
 - ・ HOUR は 24 時間表示です
- 5 十字カーソル (上 / 下) ボタンでカレンダーを設定する
- 6 設定後、SET ボタンを押す
 - ・ SET ボタンを押すことで変更した時刻が時計に設定されます。

◆ NOTE :

- ・ 時刻には誤差が生じますので、使用前に時間が合っているか確認してください。
- ・ 正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に、時刻確認、再設定を行ってください。
- ・ 年月日の表示順を変更できます。メニューから [SETTING] - [DATE FORMAT] を選択して設定してください。
→「メニュー一覧」(35 ページ)を参照。

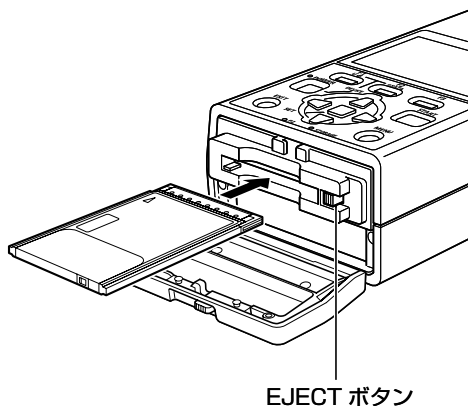
■ Timezone 一覧

時差	地域
00:00	グリニッジ
+ 00:30	
+ 01:00	中央ヨーロッパ
+ 01:30	
+ 02:00	東ヨーロッパ
+ 02:30	
+ 03:00	モスクワ
+ 03:30	テヘラン
+ 04:00	アブダビ
+ 04:30	カブール
+ 05:00	イスラマバード
+ 05:30	ボンベイ
+ 06:00	ダッカ
+ 06:30	ヤンゴン
+ 07:00	バンコク
+ 07:30	
+ 08:00	北京
+ 08:30	
+ 09:00	東京
+ 09:30	ダーウィン諸島
+ 10:00	グアム
+ 10:30	ロード・ハウ・アイランド
+ 11:00	ソロモン諸島
+ 11:30	ノーフォーク諸島
+ 12:00	ニュージーランド
+ 12:45	チャタム諸島
+ 13:00	
- 12:00	クワジャリン
- 11:30	
- 11:00	ミッドウェイ諸島
- 10:30	
- 10:00	ハワイ
- 09:30	マルケサス諸島
- 09:00	アラスカ
- 08:30	
- 08:00	ロスアンジェルス
- 07:30	
- 07:00	デンバー
- 06:30	
- 06:00	シカゴ
- 05:30	
- 05:00	ニューヨーク
- 04:30	
- 04:00	ハリファックス
- 03:30	ニューファンドランド島
- 03:00	ブエノスアイレス
- 02:30	
- 02:00	中部大西洋
- 01:30	
- 01:00	アゾレス諸島
- 00:30	

P2 カードを挿入する、取り出す

P2 カードを挿入する

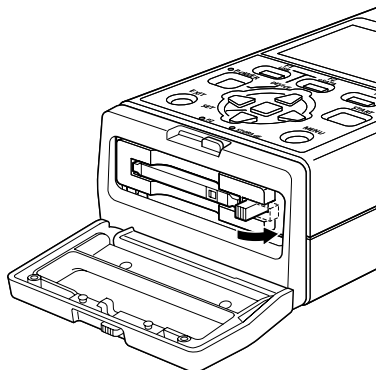
- 1 P2 カードを P2 カードスロットに挿入する
・ EJECT ボタンが飛び出す位置まで確実に挿入してください。



◆ NOTE:

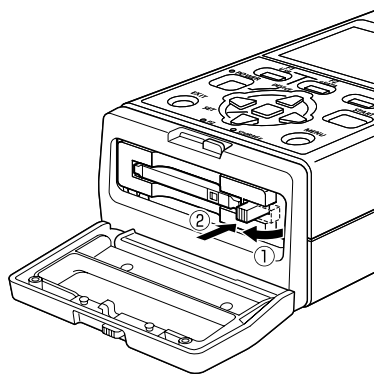
- ・ 必ず P2 カードを水平にして確実に挿入してください。斜めのまま、無理に挿入すると故障の原因になります。

- 2 EJECT ボタンを矢印の方向に倒す



P2 カードを取り出す

- 1 EJECT ボタンを矢印の方向に起こす
- 2 EJECT ボタンを押す
・ P2 カードが飛び出すので、P2 カードを引き出してください。
・ P2 カードのアクセス LED (P2) が点滅中に P2 カードを取り出さないでください。データが壊れたり、P2 カードが故障する可能性があります。

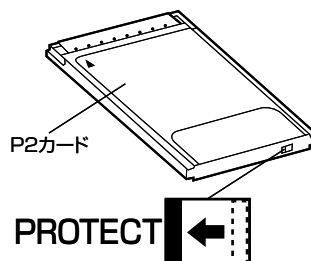


◆ NOTE:

- ・ P2 カードを取り出すとき、P2 カードが熱くなっていることがありますので注意してください。

誤消去を防ぐには

P2 カードの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐには、P2 カードの書き込み禁止スイッチを「PROTECT」側にします。



◆ NOTE:

- ・ 書き込み禁止スイッチは、コピー中などのアクセス中に切り替えても、読み出しや書き込みを終了してアクセス状態が終わるまで有効になりません。

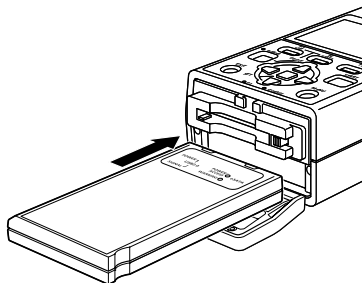
インターフェイスボックスを取り付ける、取り外す

リムーバブルインターフェイスボックス AG-MBX10G
にはあらかじめ市販のSSD (Solid State Drive)
を取り付けてご使用ください。

→「インターフェイスボックスの準備」(39 ページ)を参照。

インターフェイスボックスを本機に取り付ける

- 1 本機の電源を OFF にする
- 2 フロントドアロックレバーをスライドさせてフロントのドアを開く
- 3 インターフェイスボックスをインターフェイスボックススロットに挿入し、奥まで差し込む



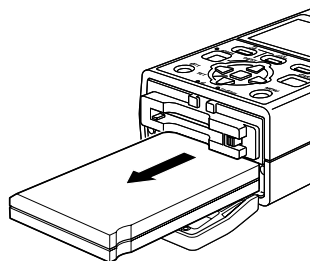
- 4 フロントのドアを閉めます。

◆ NOTE:

- ・ インターフェイスボックスを本機に取り付けるときは、必ず、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。電源が ON の状態で取り付けると、本機あるいはインターフェイスボックスや SSD の故障の原因となることがあります。

インターフェイスボックスを本機から取り外す

- 1 本機の電源を OFF にする
- 2 フロントドアロックレバーをスライドさせてフロントのドアを開く
- 3 インターフェイスボックスを引き抜く



- 4 フロントのドアを閉めます。

◆ NOTE:

- ・ インターフェイスボックスを本機から取り外すときは、必ず、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。電源が ON の状態で取り外すと、本機あるいはインターフェイスボックスや SSD の故障の原因となることがあります。

インターフェースボックスをフォーマットする

インターフェースボックスに取り付けた SSD のフォーマットを行います。

フォーマットの形式は、TYPE S と FAT を選択できます。

SSD を初めてご使用になる場合は、必ず、あらかじめ本機で TYPE S または FAT のフォーマットを行ってください。

また、ERASE ALL を選択して SSD 内部のデータを全て消去することもできます。

TYPE S:

カード単位で高速に書き込みするための特殊形式です。最大 23 枚のカードを保存することができます。保存したデータは、コンピューターなどではコピーした P2 カード毎に別々のドライブとして認識されます。

FAT:

先頭の基本パーティションが FAT32 になります。コンピューターなどでは一つのドライブとして認識され、カード単位でコピーすることに新しいフォルダーが自動的に作成されてコピーされます。

ERASE ALL:

フォーマットを行っても、内部データの一部は消去されないため、全データを確実に消去したい場合は ERASE ALL を行ってください。

◆ NOTE:

- ・ ERASE ALL は、全データの消去、書き込みを行うため非常に時間がかかりますので、バッテリーは使用せず AC アダプターを使用のうえ、実行してください。
- ・ ERASE ALL を行った SSD を再度利用する場合は、もう一度 TYPE S または FAT にフォーマットしてください。

- 1 メイン画面で TARGET 側が INTERNAL になっていることを確認し、F3 (INT. EXPLORE) ボタンを押す
 - ・ エクスプローラー画面が表示されます。

◆ NOTE:

- ・ 取り付けた SSD のフォーマット状態により表示は異なります。

- 2 MENU ボタンを押し、十字カーソル (上 / 下 / 左 / 右) ボタンで [OPERATION] - [FORMAT (INT.)] を選択し、SET ボタンを押す

- 3 フォーマットしたい形式 (TYPE S、FAT または ERASE ALL) を選び、SET ボタンを押す

- 4 確認メッセージが表示されたら、十字カーソル (上 / 下) ボタンで [YES] にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す
 - ・ フォーマットがはじまります。

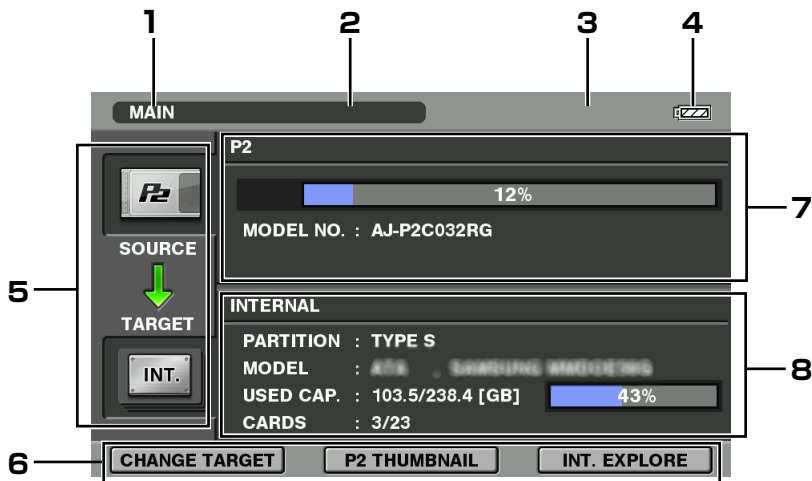
- 5 完了メッセージが表示されたら、SET ボタンを押す

◆ NOTE:

- ・ フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。また、ストレージデバイス全体をフォーマットしますのでご注意ください。
- ・ 本機でフォーマットしたストレージデバイスを他のパーソナルコンピューターなどで書き換えた場合、以後の本機での動作、およびストレージデバイスのデータは保証できません。

各種操作

コピー画面の名称と機能



1. 画面名

現在の画面の名称を表示します。

MAIN (メイン)	電源を入れたときの最初のコピー画面
P2 THUMBNAIL (P2 サムネール)	P2 カード内のサムネール表示画面
STORAGE EXPLORE (ストレージ エクスプロー)	選択されているストレージのエクスプロー画面 (パーティション/フォルダ一覧画面)
STORAGE THUMBNAIL (ストレージ サムネール)	選択されているストレージ・パーティション/フォルダ内のサムネール表示画面

2. 画面・状態更新表示

P2 カードなどから情報の読み込みや、画面の更新処理を行っているときに下図の「UPDATING」を表示します。



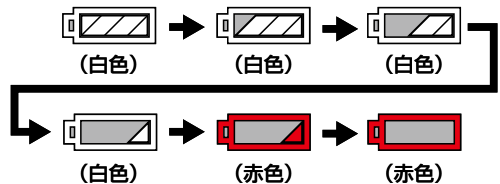
3. ワーニング表示

各種操作に異常があったり、本機、P2 カード、ストレージデバイスなどのハードウェアに問題がある場合、ワーニングメッセージが表示されます。

→「エラー/ワーニング情報」(45 ページ)を参照。

4. バッテリー状態表示

バッテリーの残量を 6 段階で表示します。



◆ NOTE:

- ・ 赤色になった状態ではコピーは開始できません。十分充電されたバッテリーに交換するか AC アダプターを使用してください。

5. カードおよびインターフェース状態およびコピー方向表示

カードや選択しているインターフェースのデバイスの使用可否状態や矢印でコピーの向きを表示します。

	P2 カードが挿入されていることを示します。
	P2 カードが挿入されていないことを示します。
	コピー対象に内部のインターフェースボックスが選択され使用できます。
	コピー対象に内部のインターフェースボックスが選択されていますが、使用できません。
	コピー対象に外部の eSATA インターフェースが選択され、使用できます。
	コピー対象に外部の eSATA インターフェースが選択されていますが、使用できません。
	コピー対象に外部の USB インターフェースが選択され、使用できます。
	コピー対象に外部の USB インターフェースが選択されていますが使用できません。

6. ファンクションボタン表示

ファンクションボタンの役割を表示します。F1 ~ F3 ボタンを押すと表示している機能で動作します。各画面により役割（表示）は変わります。

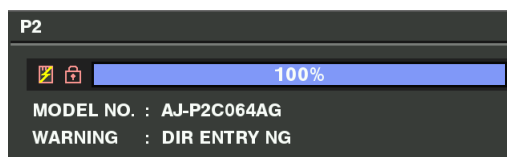
メイン画面では、以下の機能が割り当てられています。

F1	CHANGE TARGET	コピー対象となるストレージ (INTERNAL/eSATA/USB) を切り替えます。
F2	P2 THUMBNAIL	P2 カードのサムネイル表示画面に切り替わります。



F3	STORAGE EXPLORE	コピー対象となるストレージのエクスプロー画面（パーティション/フォルダー一覧画面）に切り替わります。
----	-----------------	--

7. カード情報表示

挿入されているカードの使用量や品番などの詳細な状態を表示します。



カードの情報

	カードプロテクト表示
	警告表示

警告内容

RUN DOWN CARD:

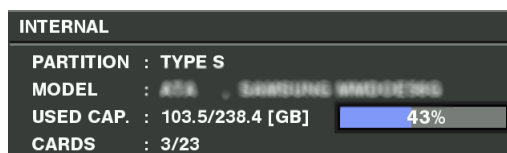
P2 カードの規定の書き換え回数を越えています。動作は継続しますが、正常に記録または再生されないことがあります。P2 カードの交換をお勧めします。

DIR ENTRY NG CARD:

P2 カードのディレクトリー配置が不正規となっています。動作は継続しますが、速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。

8. インターフェース情報表示

選択しているストレージデバイスのフォーマットなどの詳細な状態を表示します



■パーティションタイプ

パーティションタイプ	特徴	利用できる機能				
		サムネール表示	カードコピー (P2 → ストレージ)	クリップコピー		フォーマット
				P2 → ストレージ	ストレージ → P2	
TYPE S	カード単位で高速に書き込み / 読み込みするための特殊形式です。	○	○	○	○	○
FAT	先頭の基本パーティションが FAT16 または FAT32 になっているものです。そのパーティションのルート、あるいは、任意のフォルダーの下 ^{*1} の「CONTENTS」フォルダーが対象になります。	○	○	○	○	○
P2STORE	P2 store(AJ-PCS060G) のことです。書き込みはできません。	○	×	×	○	×
OTHER	上記以外でフォーマットされたストレージです。 • NTFS、HFS+、ext3 など、FAT16、FAT32 以外のファイルシステムの場合です。	×	×	×	×	○

*1: フォルダは第 3 階層まででかつフォルダ数は最大 100 個となります。フォルダの表示は上の階層から順に表示されます。またロングファイル名、2 バイト文字のファイル名には対応していません(例)

/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/20100101/CONTENTS	表示可能
/SAMPLE/20100101/1200/CONTENTS	表示不可 (4 階層なので表示できません)

ストレージデバイスを選択する

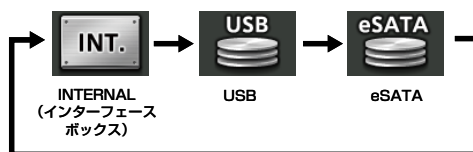
コピーを行う前にコピーするストレージデバイスを選択します。ストレージデバイスのエクスプローラ画面やサムネール画面の表示も、ここで選択したストレージデバイスが対象となります。

1 コピーに必要なストレージを接続する

2 本機の電源を ON にする

3 CHANGE TARGET (F1) ボタンを押し、接続先を切りかえる

・ ボタンを押すと次の順番で切り替わります。



◆ NOTE:

・ 切り替え後、接続されているストレージデバイスを認識し各情報が表示されるまで若干 (数秒以上) 時間がかかります。

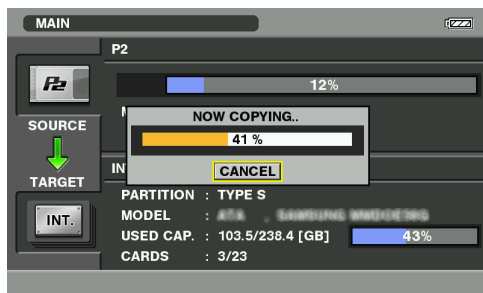
P2 カード内の全クリップをコピーする

メイン画面から START ボタンを押すだけで、カード内の全クリップをストレージデバイスへコピーすることができます。

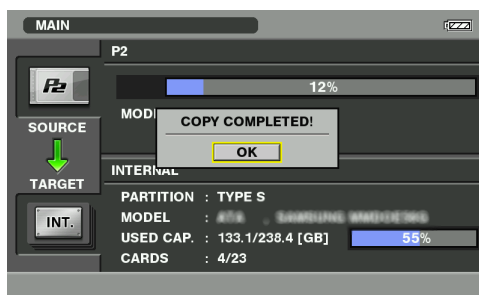
P2 カード内の全クリップをコピーする

1 本機の電源を ON にし、コピーするストレージデバイスを選択する
→「ストレージデバイスを選択する」(23 ページ)を参照。

2 START ボタンを押す
・ カードコピーが始まり進捗バーが表示されます。



3 コピー完了後、完了メッセージが表示されるので、SET ボタンを押す
・ 完了メッセージが消えます。
・ 必要に応じてサムネールを見て、コピー結果を確認してください。
→「P2 カードのサムネールを表示する」(26 ページ)を参照。



◆ NOTE:

・ 完了メッセージ表示中に自動的またはバッテリー不足となって電源 OFF した場合、次回の電源 ON 時のメイン画面で再び完了メッセージが表示されます。

◆ NOTE:

- ・ パーティションタイプによりコピー結果、および最大コピー枚数が異なります。
→「パーティション タイプとコピー結果」(25 ページ)を参照。
- ・ コピーを中断したい場合は、SET ボタンを押し CANCEL を行います。CANCEL ダイアログが表示されたら、十字カーソル(上/下)ボタンで [YES] を選び SET ボタンを押します。キャンセルせず継続する場合は [NO] を選択し SET ボタンを押します。
- ・ TYPE S の場合は、コピー前に、カードが一度コピーがされていないかどうかのチェックを行います。コピーを行っていた場合は「ALREADY COPIED. CONTINUE?」と表示されます。再度コピーを行う場合は [YES] を選択してください。

■パーティションタイプとコピー結果

パーティションタイプ	コピー結果	最大コピー枚数 * ²
TYPE S	カードごとにパーティションが作成され、その中にカードに含まれる全データがコピーされます。 本機のエクスプロア画面でコピーした P2 カードの品番やシリアル番号が確認できます。	23
FAT	カードごとにフォルダー * ¹ が作成され、その中にカードに含まれる全データがコピーされます。 本機のエクスプロア画面でフォルダー名が確認できます。	100

*¹: フォルダーは年月日のフォルダーとその下に時分秒のフォルダーの2階層作られます。

例) 2010年3月30日 12時34分56秒の場合
/10-03-30/12-34-56

*²: ストレージデバイスの容量を超えてコピーすることはできません。

◆ NOTE:

- ・ TYPE S フォーマットでのコピーの場合、コピー後に P2 カードデータとコピーしたデータの比較を自動的に行うことができます。メニューから [SETTING] - [VERIFY] を選択して設定してください。
→ 「メニュー一覧」(35 ページ) を参照。
- ・ コピー完了やエラー発生時、電源 ON 時などにブザーを鳴らすことができます。メニューから [SETTING] - [BUZZER] を選択して設定してください。
→ 「メニュー一覧」(35 ページ) を参照。

クリップを選択してコピーする

本機では全クリップだけでなく、任意のクリップを P2 カードからストレージデバイス、あるいはストレージデバイスから P2 カードへコピーすることができます。

サムネールを表示し、コピーしたいクリップを選択してコピーします。

サムネール画面と各種操作について

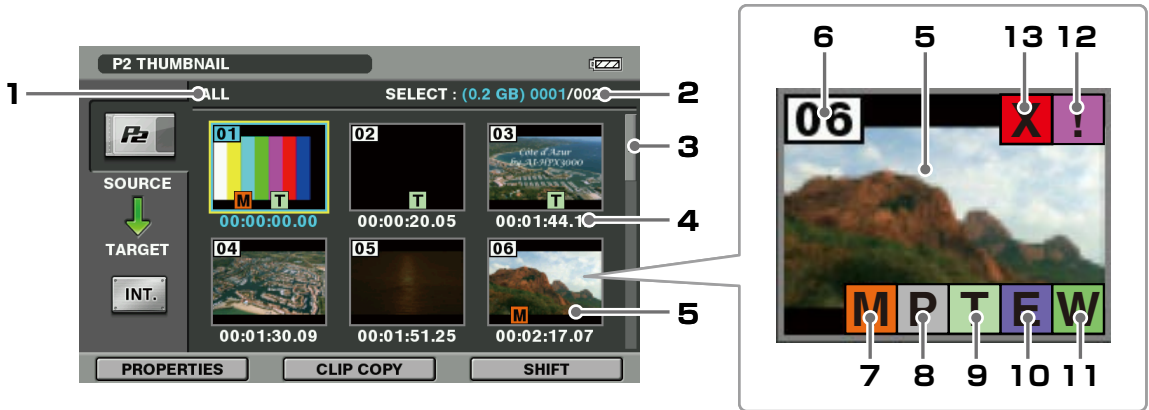
P2 カードのサムネールを表示する

- 1 P2 THUMBNAIL (F2) ボタンを押す
 - ・ サムネールが表示されます
 - ・ メイン画面へ戻るには EXIT ボタンを押します。

ストレージデバイスのサムネールを表示する

- 1 表示するストレージデバイスを CHANGE TARGET (F1) ボタンで選択する
- 2 STORAGE EXPLORE (F3) ボタンを押す
 - ・ エクスプローラー画面が表示されます。
- 3 十字カーソル (上 / 下) ボタンで、表示したいパーティション (あるいはフォルダー) へカーソルを移動する
- 4 SET ボタンを押す
 - ・ サムネールが表示されます。
 - ・ メイン画面へ戻るには EXIT ボタンを押します。

サムネイル画面について



1. 表示状態

画面に表示されているサムネイルの情報の種類が、次のように示されます。

ALL	すべてのクリップ
SELECT	SET ボタンで選択したクリップ
MARKER	ショットマークが付加されたクリップ
TEXT MEMO	テキストメモデータが付加されたクリップ

2. 選択数表示

選択されたクリップの容量と数および全クリップ数が表示されます。

3. サムネイルのスクロールバー

現在表示しているサムネイルがサムネイル全体のどの辺りかを示します。

4. 時間表示

クリップの記録開始時の TC (タイムコード)、UB (クリップの記録開始時のユーザーズビット)、撮影時刻、撮影日、撮影日時、クリップ名、ユーザークリップ名のいずれかが表示されます。

→ 「時間表示を切り替える」(29 ページ) を参照

5. サムネイル

各クリップに記録されたサムネイルを表示します。

6. クリップ番号

記録日時が早い順に、P2 カード上のクリップに割り当てた番号が表示されます。
→ 「クリップの情報を表示する (プロパティ画面)」(30 ページ) を参照。

7. ショットマークインジケータ **M**

ショットマークが付加されたクリップに表示されます。

◆ NOTE:

- ・ 本機ではショットマークを付加、または削除することはできません。

8. プロキシインジケータ **P**

AJ-HPX2700、AJ-HPX3700 などのカメラで記録したプロキシが付加記録されているクリップに表示されます。

◆ NOTE:

- ・ 本機ではプロキシを付加、または削除することはできません。

9. テキストメモインジケータ **T**

テキストメモデータが付加されているクリップに表示されます。

◆ NOTE:

- ・ 本機ではテキストメモを付加、または削除することはできません。

10. エディットコピーインジケータ **E**

エディットコピーしたクリップなどに表示されます。

11. ワイドインジケーター **W**

16:9の画角で記録されたクリップに表示されます。ただしHDフォーマットのクリップのときは表示されません。

12. 不完全クリップインジケーター **!**

複数のP2カードにまたがって記録されているにもかかわらず、その内のいずれかのP2カードが、P2カードスロットに挿入されていないときなどに表示されます。

13. 不良クリップインジケーター **X**

/不明クリップインジケーター **?**

記録中に電源が切れるなどの原因で、記録に不具合のあるクリップに **X** が表示されます。P2規格のフォーマットなどが異なるクリップの場合は、**X** の代わりに **?** が表示されます。

カーソル操作について

カーソルは十字カーソル（上/下/左/右）ボタンを使用して動かすことができます。

カーソルのジャンプ

SHIFT (F3) ボタンを押しながら十字カーソル（上/下）ボタンを押すと、カーソルを先頭クリップ/最終クリップへ移動できます。

表示するパーティション（フォルダー）の変更

ストレージデバイスのサムネイル画面の場合 SHIFT (F3) を押しながら十字カーソル（左/右）ボタンを押すと、前後のパーティション（あるいはフォルダー）内のサムネイルを表示することができます。

クリップを選択する

サムネイル画面で操作を行うとき、操作の対象となるクリップを次のように選択します。

1 十字カーソル（上/下/左/右）ボタンで、対象のクリップに黄色い枠（カーソル）を合わせる

2 SET ボタンを押す

- カーソルを合わせたクリップに水色の枠が表示され、選択状態になったことを表します。

◆ NOTE:

- 1～2の操作を繰り返すと、複数のクリップを選択できます。
- クリップを選択した後、別のクリップにカーソルを移動し、SHIFT (F3) ボタンを押しながら SET ボタンを押すと、直前に選択したクリップからカーソル位置までのクリップをまとめて選択できます。
- クリップを選択すると、選択数に応じて画面右上のクリップ選択数表示部の選択容量と選択数が更新されます。
- 選択したクリップで再度 SET ボタンを押すと、選択が解除されます。
- SHIFT (F3) ボタンを押しながら EXIT ボタンを押すとすべての選択が解除されます。

表示するサムネイルの種類を切り替える

サムネイルを、選択したクリップのみ表示するなど、種類を限定して表示することができます。

1 MENU ボタンを押し「THUMBNAIL」を選択する

2 十字カーソルボタンで表示したいクリップの種類にカーソルを合わせる

ALL CLIP	すべてのクリップを表示
SELECTED CLIPS	SET ボタンで選択したクリップのみを表示 このときサムネイルの並び順は、選択した順番となります
MARKED CLIPS	ショットマークが付加されたクリップのみを表示
TEXT MEMO CLIPS	テキストメモデータがあるクリップのみを表示

3 SET ボタンを押す

インジケータ表示を切り替える

サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。

1 MENU ボタンを押し、十字カーソルボタンで [THUMBNAIL] - [SETUP] - [INDICATOR] を選択する

2 十字カーソルボタンで表示したいインジケータの種類にカーソルを合わせる

- ・ SET ボタンを押すたびに、チェックマークあり / チェックマークなしが切り替わります。表示したいインジケータでチェックマークをつけます。

ALL HIDE	インジケータをすべて非表示 本項目を選択している場合は他の項目は選択できません。
MARKER	ショットマークインジケータを表示
TEXT MEMO	テキストメモインジケータを表示
WIDE	ワイドインジケータを表示
PROXY	プロキシインジケータを表示

3 SET ボタンを押す

時間表示を切り替える

時間表示の種類設定の切り替えを行います。

1 MENU ボタンを押し、十字カーソルボタンで [THUMBNAIL] - [SETUP] - [DATA DISPLAY] を選択する

2 十字カーソルボタンで表示したいデータの種類にカーソルを合わせ、SET ボタンを押す

TC	タイムコード
UB	ユーザーズビット
TIME	記録時刻
DATE	記録日
DATE TIME	記録日時
CLIP NAME	クリップ名
USER CLIP NAME	ユーザークリップ名の先頭の最大 15 文字

3 SET ボタンを押す

クリップの情報を表示する（プロパティ画面）

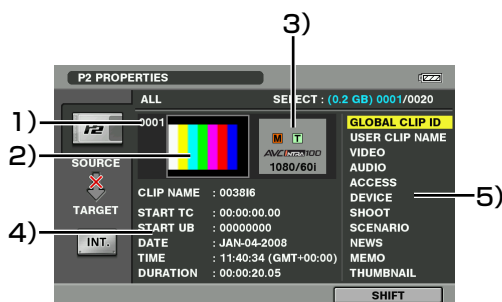
クリップの詳細な情報を画面に表示して確認できます。また、P2 カードのクリップについては、詳細項目で項目を選択することで情報の修正も行うことができます。

1 PROPERTIES (F1) ボタンを押す

- カーソル位置のクリップに関する情報が表示されます。

◆ NOTE:

- 十字カーソル（左 / 右）ボタンで前後のクリップに移動できます。また、SHIFT (F3) ボタンを押しながら十字カーソル（上 / 下）ボタンを押すと、先頭クリップ / 最終クリップに移動できます。



1) クリップ番号

2) サムネール

クリップ内の映像をスライドショーで表示します（更新間隔は記録フォーマットや映像内容によって異なります。）

3) クリップ付加情報

クリップに挿入された各種インジケータとクリップの記録フォーマットが表示されます。また、クリップが記録された P2 カードに、ライトプロテクトがかけられているとき、マークが表示されません。

ボイスメモインジケータ

ボイスメモが付加されたクリップに表示されます。クリッププロパティ画面のときのみ表示されます。

4) クリップ情報

次の情報が表示されます。

CLIP NAME	クリップ名
START TC	記録開始時のタイムコード

START UB	記録開始時のユーザーズビットの値
DATE	記録開始した日付
TIME	記録開始時の時刻
DURATION	クリップの長さ

5) クリップメタデータ

クリップの詳細情報（クリップメタデータ）を参照するための項目が表示されません。

2 必要に応じてクリップメタデータの内容を参照する

- 十字カーソル（上 / 下）ボタンでクリップメタデータの項目にカーソルを合わせ、SET ボタンを押すと、次の情報が表示されます。

GLOBAL CLIP ID	グローバルクリップ ID
USER CLIP NAME	ユーザーが付けることのできるクリップ名 通常は GLOBAL CLIP ID が入っています。
VIDEO	ビデオ信号方式など
AUDIO	オーディオの各チャンネル方式など
ACCESS	最終更新日など
DEVICE	記録した機器のシリアル番号など
SHOOT	記録開始、終了した日付など
SCENARIO	番組名、シーン No. など
NEWS	レポーター、取材対象など
MEMO	TEXT MEMO の番号、位置、名前、テキスト内容

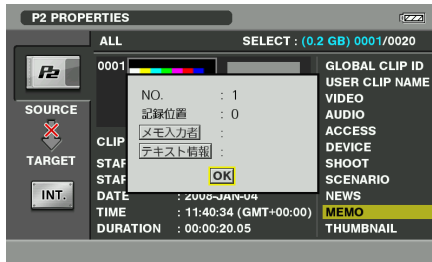
◆ NOTE:

- OFFSET については、先頭からのフレーム数で表します。
- TEXT 内容は最大 1000 文字添付可能ですが、先頭の 100 文字が表示されます。
- テキスト番号は十字カーソル（左 / 右）ボタンで動かします。

THUMBNAIL サムネールの元となる画像のフレーム位置やサイズ

◆ NOTE :

- ・ P2 カード内のクリップの場合、詳細情報表示時に各クリップメタデータを修正することができます。
変更可能なメタデータは、次の図の「テキスト情報」のように表示されています。



十字カーソルボタンで、変更項目へ移動し、SET ボタンを押すとメタデータ修正の画面（ソフトウェア）が表示されるので、ソフトウェアでメタデータを修正します。
修正終了後 [OK] を選択すると修正したメタデータをクリップへ保存し、メタデータの表示へ戻ります。
EXIT を選択すると入力を取り消し、元へ戻ります。

3 EXIT ボタンを押す

- ・ サムネール画面に戻ります。

P2 カード内のクリップをコピーする

1 メイン画面で CHANGE TARGET (F1) ボタンを押し、コピー先のストレージデバイスを選択する
→「ストレージデバイスを選択する」(23 ページ) を参照。

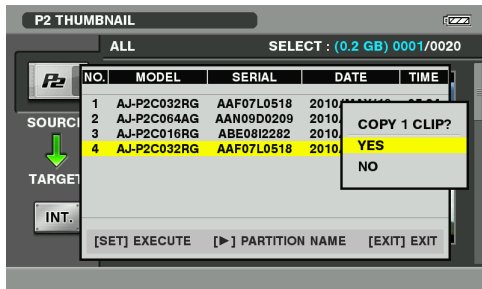
2 P2 THUMBNAIL (F2) ボタンを押して P2 カードのサムネールを表示し、コピーするクリップを選択する
→「クリップを選択する」(28 ページ) を参照。

3 CLIP COPY (F2) ボタンを押す、またはメニューボタンを押し、十字カーソルボタンで [OPERATION] - [COPY (INT./USB/eSATA)] を選択し、SET ボタンを押す
・ ストレージデバイスのエクスプローラー画面が表示されます。

4 十字カーソルボタンで、コピーしたいパーティション（またはフォルダー）を選択し、SET ボタンを押す
・ 選択されているクリップの数と [YES] / [NO] の選択画面が表示されます。

5 十字カーソルボタンで [YES] を選択し、SET ボタンを押す

- ・ [YES] を選択すると、クリップコピーが開始され進捗バーが表示されます。
- ・ [NO] を選択するとコピーは行われません。



- ・ コピーを途中で中断する場合は、SET ボタンを押します。CANCEL ダイアログが表示されるので、十字カーソルボタンで [YES] を選び SET ボタンを押します。キャンセルせず継続する場合は [NO] を選択し、SET ボタンを押します。

6 コピー完了後、完了メッセージが表示されるので、SET ボタンを押す

- ・ 完了メッセージが消えます。

◆ NOTE:

- ・ P2 カードのサムネール画面で START ボタンを押すと、選択したクリップのコピーではなく、P2 カードの全クリップコピーが実行されます。
→ 「P2カード内の全クリップをコピーする」(24ページ) を参照。
- ・ コピー先にある 不良クリップ・インジケーター付のクリップ (前回のクリップコピー中に電源が切れたことなどにより作られる) に、再び上書きでクリップコピーする場合は、コピー先の不良クリップを削除してからクリップコピーを行ってください。
- ・ コピー完了やエラー発生時、電源 ON 時などにブザーを鳴らすことができます。メニューから [SETTING] - [BUZZER] を選択して設定してください。
→ 「メニュー一覧」(35ページ) を参照。
- ・ 完了またはキャンセルによる終了メッセージ表示中に自動的またはバッテリー不足となって電源 OFF した場合、次回電源 ON のメイン画面で再びメッセージが表示されます。
- ・ TYPE S フォーマットのストレージデバイスへクリップをコピーした場合は、カードの MODEL 表示に「UNKNOWN」と表示されます。

ストレージデバイス内のクリップをコピーする

1 メイン画面で CHANGE TARGET (F1) ボタンを押し、コピー元のストレージデバイスを選択する

- 「ストレージデバイスを選択する」(23ページ) を参照。

2 STORAGE EXPLORE (F3) ボタンを押し、ストレージデバイスのエクスプロー画面を表示する

3 ストレージデバイスのサムネールを表示し、コピーするクリップを選択する

- 「ストレージデバイスのサムネールを表示する」(26ページ) を参照。

4 CLIP COPY (F2) ボタンを押す

- ・ またはメニューボタンを押し、十字カーソルボタンで [OPERATION] - [COPY (P2)] を選択し、SET ボタンを押してください。
- ・ 選択されているクリップの数と [YES] / [NO] の選択画面が表示されます。

5 十字カーソルボタンで [YES] を選択し、SET ボタンを押す

- ・ [YES] を選択すると、クリップコピーが開始され進捗バーが表示されます。
- ・ [NO] を選択するとコピーは行われません。
- ・ コピーを途中で中断する場合は、SET ボタンを押します。CANCEL ダイアログが表示されるので、十字カーソルボタンで [YES] を選び SET ボタンを押します。キャンセルせず継続する場合は [NO] を選択し、SET ボタンを押します。

6 コピー完了後、完了メッセージが表示されるので、SET ボタンを押す

- ・ 完了メッセージが消えます。

◆ NOTE:

- ・ コピー完了やエラー発生時、電源 ON 時などにブザーを鳴らすことができます。メニューから [SETTING] - [BUZZER] を選択して設定してください。
→ 「メニュー一覧」(35ページ) を参照。
- ・ 完了またはキャンセルによる終了メッセージ表示中に自動的またはバッテリー不足となって電源 OFF した場合、次回電源 ON のメイン画面で再びメッセージが表示されます。

P2 カードをフォーマットする

- 1 メイン画面または P2 サムネール画面でメニューを開く
- 2 メニューボタンを押し、十字カーソルボタンで「OPERATION」-「FORMAT (P2)」を選択する
- 3 確認画面が表示されるので、十字カーソルボタンで「YES」を選択し、SET ボタンを押す
 - ・ 「YES」を選択すると、フォーマットが開始されフォーマット中のメッセージが表示されます。
 - ・ 「NO」を選択するとフォーマットは行われません。
- 4 フォーマット完了後、完了メッセージが表示されるので、SET ボタンを押す
 - ・ 完了メッセージが消えます。

◆ NOTE:

- ・ フォーマットにより消去されたデータは復元することができませんので、必ずデータを確認した後に実行してください。

接続

パーソナルコンピューターと接続する

本機の USB デバイス端子、eSATA デバイス端子とパーソナルコンピューターを接続することにより、インターフェイスボックスの SSD へアクセスすることができます。USB 接続の場合には、P2 カードスロットに挿入された P2 カードにもアクセスができます。

本機を USB デバイスとして利用する

USB デバイス端子とパーソナルコンピューターを接続することにより、本機の P2 カードスロットに挿入された P2 カードおよびインターフェイスボックススロットに挿入された SSD をマストレージとして扱うことができます。また当社がホームページで無償配布している P2 ビューアーを使用すると、P2 カードに記録されたクリップを、Windows PC で操作できます。

◆ NOTE:

- ・ USB2.0 でご使用ください。
- ・ この接続での操作については、利用するコンピューターやアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- ・ インターフェイスボックスの入れ替えは、本機の電源を OFF にしてから行ってください。

USB デバイスモードへ切り替える

- 1 [F1] ボタンを押しながら、[POWER] ボタンを 1 秒以上押して電源を ON にする
・ USB デバイスモードで起動します。
- 2 USB デバイス端子とパーソナルコンピューターを、付属の USB ケーブル (USB2.0) で接続する
・ 画面にはホストとの接続状態が表示されます。

DISCONNECT	未接続時
CONNECT	接続時
- 3 通常モードへ戻る場合には、電源を OFF にし、再度、電源を ON にする

◆ NOTE:

- ・ Windows PC をお使いの場合は、付属の CD-ROM からドライバーのインストールを行ってください。

- ・ Macintosh PC をお使いの場合は、付属の CD-ROM からドライバーのインストールを推奨します。
- ・ データ転送中にケーブルをはずしたり、本機やパーソナルコンピューターの電源を切断しないでください。データの破損や故障の原因となります。
- ・ 市販の USB ケーブルを使用する場合は、ダブルシールドのものをご使用ください。

本機を eSATA デバイスとして利用する

eSATA デバイス端子とパーソナルコンピューターを接続することにより、インターフェイスボックススロットに挿入された SSD へ高速にアクセスすることができます。

◆ NOTE:

- ・ eSATA デバイスの場合は、P2 カードにはアクセスできません。

eSATA デバイスモードへ切り替える

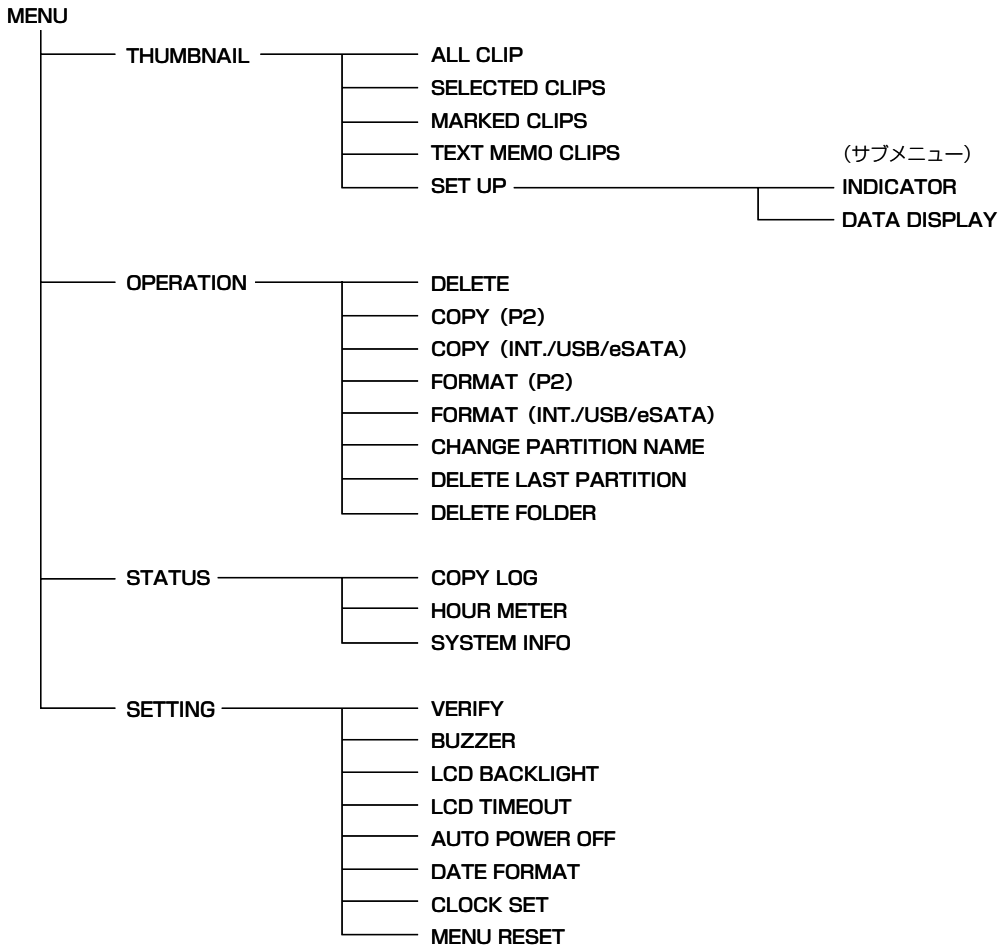
- 1 eSATA デバイス端子とパーソナルコンピューターを市販の eSATA ケーブルで接続する
- 2 [F2] ボタンを押しながら、POWER ボタンを 1 秒以上押して電源を ON にする
・ eSATA デバイスモードで立ち上がりします。このとき画面にホストとの接続状態などは表示されません。
- 3 通常モードへ戻る場合には、電源を OFF にし、再度、電源を ON にする

◆ NOTE:

- ・ データ転送中にケーブルをはずしたり、本機やパーソナルコンピューターの電源を切断しないでください。データの破損や故障の原因となります。
- ・ eSATA ケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。

セットアップ

メニュー一覧



◆ NOTE:

- ・メニューとログデータを初期化する場合は、メニューから [SETTING] - [MENU RESET] を選択して SET ボタンを押してください。

THUMBNAIL

メニュー	設定内容
ALL CLIP	すべてのクリップを表示します。
SELECTED CLIPS	SET ボタンで選択したクリップのみを表示します。
MARKED CLIPS	ショットマークが付加されたクリップのみを表示します。
TEXT MEMO CLIPS	テキストメモデータがあるクリップのみを表示します。
SETUP	インジケータの表示や時間表示を切り替えます。 (詳細は、下記サブメニューを参照してください。)
サブメニュー	
INDICATOR	サムネール表示のインジケータやデータ設定の切り替えを行います。 ALL HIDE: インジケータを表示しません。本項目を選択している場合は他の項目は選択できません。 MARKER: ショットマークインジケータを表示します。 TEXT MEMO: テキストメモインジケータを表示します。 WIDE: ワイドインジケータを表示します。 PROXY: プロキシインジケータを表示します。
DATA DISPLAY	時間表示の種類設定の切り替えを行います。 TC: タイムコード UB: ユーザーズビット TIME: 記録時刻 DATE: 記録日 DATE TIME: 記録日時 CLIP NAME: クリップ名 USER CLIP NAME: ユーザークリップ名の先頭の最大 15 文字

OPERATION

メニュー	設定内容
DELETE	選択しているクリップを削除します。
COPY (P2)	ストレージデバイス内のクリップを P2 カードへコピーします。
COPY (INT./USB/eSATA)	P2 カード内のクリップをストレージデバイス (INT./USB/eSATA) へコピーします。
FORMAT (P2)	P2 カードをフォーマットします。
FORMAT (INT./USB/eSATA)	ストレージデバイス (INT./USB/eSATA) を TYPE S または FAT でフォーマットあるいはデータの全消去を行いません。
CHANGE PARTITION NAME	TYPE S 形式のストレージデバイスのパーティション名を変更します。
DELETE LAST PARTITION	TYPE S 形式のストレージデバイスの最終パーティションを削除します。
DELETE FOLDER	FAT 形式のストレージデバイスのフォルダーを削除します。

STATUS

メニュー	設定内容
COPY LOG	コピー結果の履歴（ログ情報）を表示します。
HOURL METER	次の使用時間などを表示します。 OPERATION: 電源が入っている時間が、1 時間単位で表示されます。 LCD ON: 液晶モニターのバックライトの通電時間が、1 時間単位で表示されます。 POWER ON: 電源を入れた回数が、1 回単位で表示されます。
SYSTEM INFO	本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

SETTING

メニュー	設定内容
VERIFY	TYPE S フォーマットでのコピーの場合、コピー後に P2 カードデータとコピーしたデータの比較を自動的に行うことができます。 ON: コピー後に比較を行います。ベリファイにはコピーと同等の時間がかかります。 OFF: 比較は行いません。
BUZZER	コピー完了やエラー発生時、電源 ON 時などにブザーを鳴らすことができます。 ONCE: ブザーは 1 度だけ鳴ります。 REPEAT: いずれかの操作を行うまでブザーは鳴り続けます。 OFF: ブザーは鳴りません。
LCD BACKLIGHT	液晶モニターのバックライトの明るさを調整することができます。 LIGHT: 通常 DARK: 暗い
LCD TIMEOUT	いずれかの操作を行った後一定時間（約 5 分）が経過すると、自動的に液晶モニターの LCD を消すことができます。 ON: 自動的に LCD が消えます。 OFF: LCD は消えません。
AUTO POWER OFF	電源を自動的に OFF にするまでの時間を設定できます。 OFF / 5 min / 10 min / 15 min / 20 min / 25 min / 30 min 初期設定は 10 min です。
DATE FORMAT	年月日の表示順を変更できます。 Y-M-D: 年月日の順に表示します。 M-D-Y: 月日年の順に表示します。 D-M-Y: 日月年の順に表示します。
CLOCK SET	カレンダー、時計の設定を行います。
MENU RESET	メニューの設定を初期化し、コピー結果の履歴をクリアします。 YES: メニュー設定をデフォルトに戻し、コピー結果の履歴をクリアします。 NO: 初期化をせずに戻ります。

本機の情報を表示する

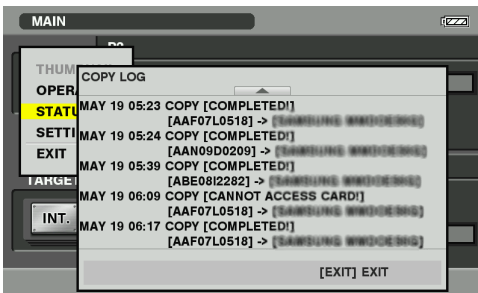
ログ情報

本機ではコピー結果の履歴（ログ情報）を保存しています。このログについては次のようにして確認することができます。

- 1 電源を ON にする
- 2 MENU ボタンを押してメニューをひらく
- 3 十字カーソルボタンで [STATUS] - [COPY LOG] を選択して SET ボタンを押す
 - ・ 次のログが表示されます。
 - コピー開始日時とコピー結果
 - [コピー元] → [コピー先]
 - ・ P2 カードシリアル番号またはストレージのモデル名

◆ NOTE:

- ・ 日時はグリニッジ標準時間を保存しています。日時の Timezone を変更すると、それに合わせて表示される日時が変更されます。



- 4 EXIT ボタンを押す
 - ・ メニューに戻ります。

◆ NOTE:

- ・ メニューとコピー結果の履歴を初期化する場合は、メニューから [SETTING] - [MENU RESET] を選択して SET ボタンを押してください。
→ 「メニュー一覧」(35 ページ) を参照。
- ・ コピー結果の履歴は本機の操作を続けると古いものから自動的に削除されます。

使用時間

使用時間などを表示します。

- 1 電源を ON にする
- 2 MENU ボタンを押してメニューをひらく
- 3 十字カーソルボタンで [STATUS] - [HOUR METER] を選んで SET ボタンを押す
 - ・ 次の使用時間などを表示します。

OPERATION	電源が入っている時間が、1 時間単位で表示されます。
LCD ON	液晶モニターのバックライトの通電時間が、1 時間単位で表示されます。
POWER ON	電源を入れた回数が、1 回単位で表示されます。

- 4 EXIT ボタンを押す
 - ・ メニューに戻ります。

ソフトウェアバージョン

本機のソフトウェアのバージョンを表示します。

- 1 電源を ON にする
- 2 MENU ボタンを押してメニューをひらく
- 3 十字カーソルボタンで [STATUS] - [SYSTEM INFO] を選んで SET ボタンを押す
 - ・ システムのバージョンを表示します。
 - ・ 十字カーソル（左/右）ボタンで、さらに詳細なバージョンを表示します。
- 4 EXIT ボタンを押す
 - ・ メニューに戻ります。

インターフェースボックス

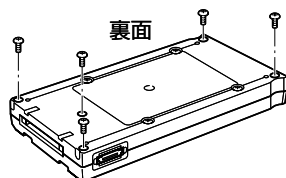
インターフェースボックスの準備

インターフェースボックス AG-MBX10G は、SSD を装着することにより、本機へ挿入して P2 カメラレコーダーなどで記録したデータを SSD へコピーすることができます。

また、AC アダプター不要の USB バスパワー駆動により単体での動作が可能です。USB2.0 接続に加えて、eSATA 接続による高速アクセスができます。

SSD (Solid State Drive) の取り付け

- 1 インターフェースボックスのネジ (5 本) を外し、上ケースを取り外す

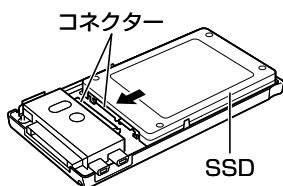


+No.0 のドライバーで外す

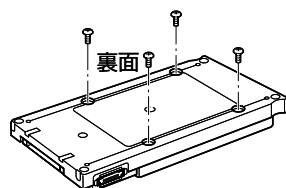
- 2 SSD をコネクタに合わせてスライドさせるように装着する

◆ NOTE:

- ・ SSD を斜めから装着しないでください。コネクタが破損するおそれがあります。

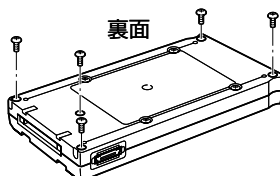
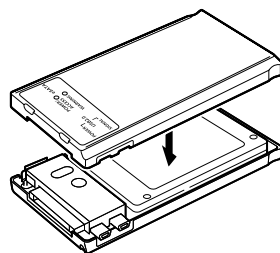


- 3 付属の 3.0 mm 径ネジ (4 本) で SSD を固定する



+No.2 のドライバーで固定

- 4 上ケースを閉じ、手順 1 で外した 2 mm 径ネジ (5 本) を締めて固定します。



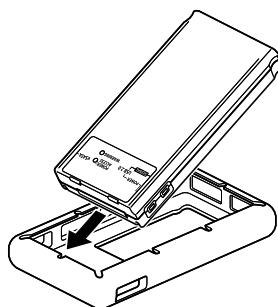
+No.0 のドライバーで固定

◆ NOTE:

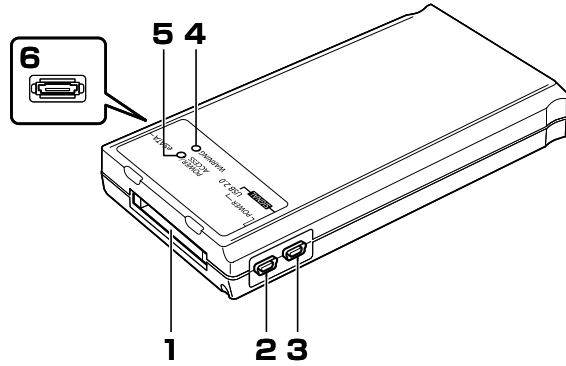
- ・ ネジの取り外し、取り付けには SSD 固定ネジ +No.2、上下ケース固定ネジは +No.0 のドライバーをご使用ください。

シリコンジャケットの取り付け

インターフェースボックスを単体で使用する場合には、端子保護のため付属のシリコンジャケットに入れてお使いください。



各部の名称



1. **AG-MSU10 接続端子**
モバイルストレージユニット AG-MSU10 と接続する端子です。

2. **USB2.0 端子 (POWER 端子)**
USB ケーブルでパーソナルコンピュータの USB2.0 端子と接続します。
電源供給専用の端子です。

3. **USB2.0 端子 (SIGNAL 端子)**
USB ケーブルでパーソナルコンピュータの USB2.0 端子と接続します。
データ転送 / 電源供給用の端子です

4. **WARNING LED**
電源供給が不足したときに点灯します。
→「バスパワー動作確認方法」(41 ページ) を参照。

5. **POWER/ACCESS LED**
緑色：電源が供給され使用できるようになりました。
赤色：ホスト機器からアクセスしています。

◆ **NOTE:**

- POWER/ACCESS LED は装着する SSD によって点灯のしかたが異なります。

6. **eSATA 端子**
eSATA ケーブルでパーソナルコンピュータの eSATA 端子と接続します。

◆ **NOTE:**

- eSATA 端子では電源は供給されません。USB ケーブルを使用して電源を供給してください。
- eSATA 端子に接続するケーブルは、ダブルシールドのものをご使用ください。

インターフェースボックスをパーソナルコンピューターに接続する

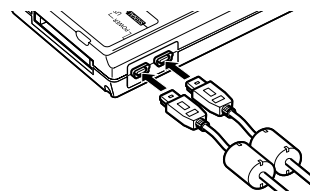
本機（AG-MSU10）に付属またはオプションのインターフェースボックス（AG-MBX10G）には USB 端子よりバスパワー供給することで動作させることができますが、使用環境（SSD、USB ケーブル、パーソナルコンピューターなど）によっては電力供給不足となり、正常に動作しない場合があります。

電力が不足すると以下のような症状が発生します。

- パーソナルコンピューターが SSD を認識しない。
- SSD に書き込み中に突然動作が停止し、パーソナルコンピューターにエラーメッセージが表示される。

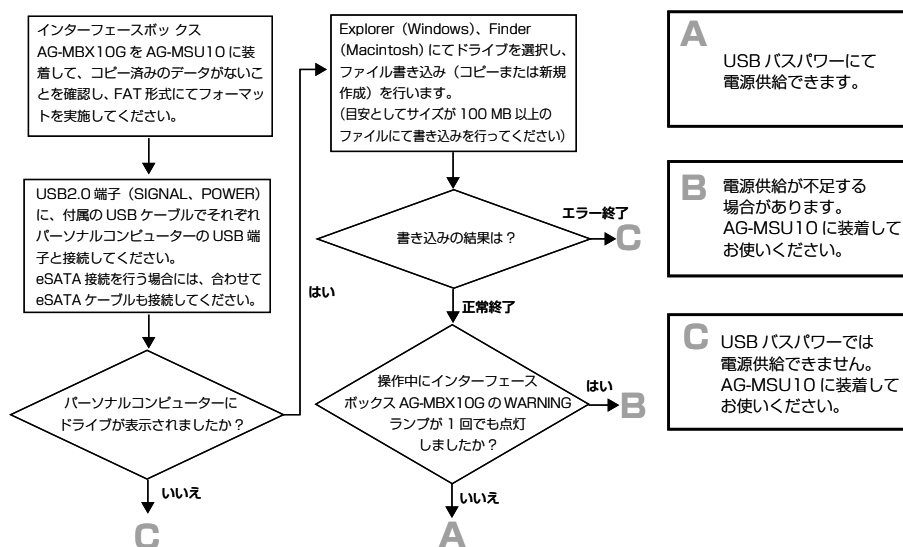
◆ NOTE:

- ・ バスパワーでご利用される場合、USB ケーブルは 2 本接続でご利用ください。
→ 「バスパワー動作確認方法」（このページ）を参照。
- ・ SSD に書き込みをする場合は、本機（AG-MSU10）に装着し、AC アダプターで電源供給した状態でご利用ください。
- ・ USB ケーブルは、付属のものをご使用ください。



■ バスパワー動作確認方法

バスパワーでご利用される場合、本体にてコピーを行う前に、以下の手順で事前確認されることをお勧めします。確認結果は、お使いのパーソナルコンピューターにおける動作を完全に保証するものではありません。



◆ NOTE:

- ・ USB バスパワーでの動作を長時間行う場合、パーソナルコンピューターは電源が切れないように AC 電源でのご使用をお勧めします。
- ・ USB ハブをご使用になる場合は、セルフパワー（AC アダプターで電源供給）の USB ハブを使用してください。

未永くお使いいただくために

内蔵電池について

年月日、時刻は内蔵電池を使って記憶させています。画面右上に「E-50」の表示が出るときは、内蔵電池が消耗しています。以下の方法で充電してください。充電完了後、年月日・時刻を設定してください。

- 1 本機に AC アダプターを接続する
・本機の電源は、OFF のままにします。

- 2 約 4 時間、そのままの状態にしておく
・内蔵電池が充電されます。

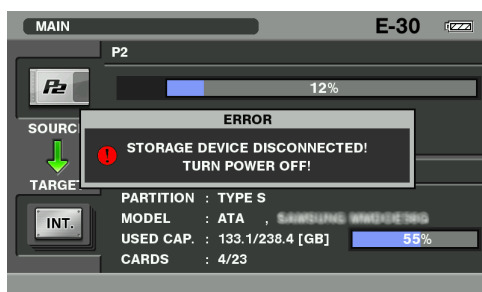
◆ NOTE:

- ・充電後も「E-50」が表示される場合は、内蔵電池の交換が必要です。お買い上げの販売店にご依頼ください。

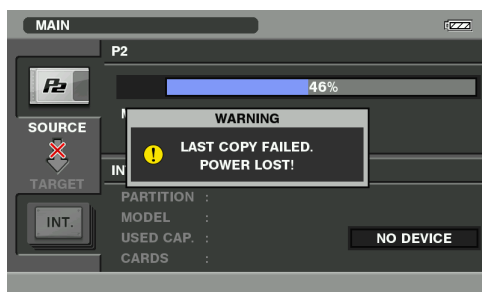
エラーメッセージ

操作中に P2 カードまたはストレージデバイスに障害がおきて、コピーが失敗するなどのエラーが発生すると、次のようにエラーダイアログが表示されます。(電源を一度切る必要がある場合には、POWER、P2、STORAGE のすべての LED が点滅します。)

エラーの表示に従って操作し、障害の対策後に再度操作してください。



またコピー中またはストレージデバイスのフォーマット中にバッテリーが切れるなどして電源供給が途切れた場合には、再度電源を ON にしたときに次のようなダイアログとメッセージによって前回のコピーまたはフォーマット結果が表示されます。確認後 SET ボタンを押すと、表示が消えて通常操作が可能となります。



■ エラー情報一覧

メッセージ	内容	対応
CANNOT ACCESS CARD!	P2 カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2 カードを確認してください。
CANNOT ACCESS TARGET!	ストレージデバイスのアクセス中にエラーが発生しました。	ストレージデバイスの状態や接続を確認してください。
CANNOT ACCESS!	前回のコピーまたはフォーマットは P2 カードまたはストレージデバイスにエラーが発生したことで失敗しました。	P2 カードおよびストレージデバイスを確認して、再度実行してください。
CANNOT COPY!	コピー中に P2 カードまたはストレージデバイスにエラーが発生しました。	P2 カードおよびストレージデバイスを確認してください。
CANNOT COPY! FORMAT STORAGE DEVICE TO FAT	コピー先となるパーティションが存在しないためコピーできません。	FAT 形式にフォーマットするか、パーティションの存在するストレージデバイスを使用してください。
CANNOT FORMAT!	P2 カードまたはストレージデバイスのフォーマットができません。	P2 カードまたはストレージデバイスを確認してください。
CANNOT RECOGNIZE STORAGE DEVICE!	ストレージデバイスが正しく認識できません。	ストレージデバイスの電源を入れ直すか、接続するストレージデバイスを変更してください。
CARD ACCESS ERROR!	P2 カードのアクセス中にエラーが発生しました。	P2 カードを確認してください。
CARD IS EMPTY! CANNOT COPY!	コピー元の P2 カードが空です。	コピー元が空の場合はコピーは行いません。
DEVICE DISCONNECTED!	前回のコピーまたはフォーマットは P2 カードかストレージデバイスとの接続が切断されたことで失敗しました。	デバイスを接続し直し、再度実行してください。
LACK OF CAPACITY!	コピー先の P2 カードまたはストレージデバイスの容量が不足しています。	容量の十分ある P2 カードまたはストレージデバイスを使用してください。
LAST COPY FAILED.	前回のコピーは失敗しました。	再度コピーを行ってください。
LAST COPY SUCCESSFUL.	前回のコピーは成功しました。	—
LAST FORMAT FAILED.	前回のフォーマットは失敗しました。	再度フォーマットを行ってください。
LAST FORMAT SUCCESSFUL.	前回のフォーマットは成功しました。	—
LOW BATTERY!	バッテリーの残量が少なくなっています。	バッテリーを交換するか、AC アダプターを使用してください。
NOT SELECTED!	クリップが選択されていません。	クリップを選択してからコピーしてください。
POWER LOST!	前回のコピーまたはフォーマットは電源供給が途切れたことで失敗しました。	バッテリーを交換するか、AC アダプターを使用して、再度実行してください。

メッセージ	内容	対応
STORAGE DEVICE DISCONNECTED!	ストレージデバイスとの接続が切断されました。	ストレージデバイスを接続し直してください。またその後正常に動作しないときは、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。
SYSTEM ERROR!	前回のコピーまたはフォーマットはシステムコントロールでエラーが発生したことで失敗しました。	再度実行してください。
TOO MANY CLIPS!	選択しているクリップが多すぎます。	選択しているクリップを減らしてください。
TOO MANY FOLDERS!	ストレージデバイスのフォルダー数が多すぎます。	最大フォルダー数は 100 です。新しいストレージデバイスまたはフォーマットしたストレージデバイスを使用してください。
TOO MANY PARTITIONS!	ストレージデバイスのパーティションが多すぎます。	ストレージデバイスの最大パーティション数は 23 です。新しいストレージデバイスまたはフォーマットしたストレージデバイスを使用してください。
TOO MANY TARGETS!	ハブなどを介して複数の機器が接続しています。	接続を解除後、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。
TURN POWER OFF!	P2 カードまたはストレージデバイスの読み書きに異常が発生したときに表示されません。	一度、電源を切ってからご使用ください。
UNKNOWN CONTENTS FORMAT!	不明クリップ（本機で対応していないバージョンのクリップ）、または不良クリップに対して操作が行われました。	不明クリップの場合は、機器とコンテンツのバージョンを合わせてください。不良クリップの場合は、記録した機器で修復するか削除してから操作してください。
UNKNOWN DEVICE CONNECTED!	未対応の DVD ドライブなどが接続されています。	接続を解除後、一度電源を OFF にして、再び電源を ON にしてください。
VERIFICATION FAILED!	コピー後のベリファイ結果が不一致でした。	再度コピーを行ってください。
WRITE PROTECTED!	P2 カードがライトプロテクトされています。	書き込み可能な P2 カードを挿入してください。

■ エラー/ワーニング情報

コピーなどの操作とは別に異常状態を知らせるため、画面右上部に E-**が点灯することがあります。


表示 No	内容	動作
30	P2 カードまたはストレージデバイスのアクセス中に異常が発生したときに表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP
37	システムコントロールの指示に従わない場合に表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP
38	通信異常が発生したときに表示されます。 一度、電源を切ってからご使用ください。	STOP
50	電源 ON 時に内蔵時計のバックアップ電池の電圧低下を検出したときに表示します。 内蔵電池を充電してください。→「内蔵電池について」(42 ページ) を参照。	動作継続
BA	バッテリー容量なし。 バッテリーを充電してください。	電源 OFF
70	ディレクトリー配置が不正な P2 カードを挿入しています。 速やかにカードのバックアップを取り、フォーマット後ご使用ください。	動作継続
71	規定の書き換え回数を超えている P2 カードを挿入しています。 P2 カードの交換をお勧めします。	動作継続

未
永
く
お
使
い
た
だ
く
た
め
に

修理を依頼される前に

本機の動作がおかしいなと感じたら、一度以下の確認を行ってください。それでも、異常状態が回復しない場合はご購入の販売店にご相談ください。

電源関係

現象	確認内容	参照ページ
電源が入らない。	・ バッテリーや AC アダプターは正しく接続されていますか。接続を確認してみてください。 ・ 電源を入れるときは POWER ボタンを 1 秒以上押してください。	15 ページ 16 ページ
電源が勝手に切れる。	・ バッテリーの消耗を防ぐために、操作をしていない状態が 10 分以上つづく、自動的に電源が切れます。設定メニュー [SETTING] - [AUTO POWER OFF] を確認してください。	16 ページ
電源が入ってもすぐに切れる。	・ バッテリーが消耗していませんか。バッテリー残量表示が点滅していたり、  の表示が出ている場合は、バッテリーが消耗しています。バッテリーを充電するか十分に充電されたバッテリーを入れてください。	14 ページ

バッテリー関係

現象	確認内容	参照ページ
バッテリーの消耗が早い。	・ 十分に充電されていますか。充電器の CHARGE ランプが消灯するまで充電してください。 ・ 低い温度の所で使っていませんか。バッテリーは、周囲の温度の影響を受けます。低い温度の所では、使用時間が短くなります。 ・ バッテリーが寿命になっていませんか。バッテリーには寿命があります。寿命は使い方によって変わりますが、十分に充電しても使用時間が短いときは、バッテリーの寿命です。	14 ページ

お手入れについて

お手入れの際は、ベンジンやシンナーを使わないでください。

- ・ ベンジンやシンナーを使うと、本機が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- ・ お手入れの際は、バッテリーを外しておくか、AC コードをコンセントから抜いておきます。
- ・ 柔らかい、清潔な布で本機をふいてください。汚れがひどいときは、水でうすめた台所用洗剤にひたした布で汚れをふき、乾いた布で仕上げてください。

結露

結露が起こるのは、暖房を入れた部屋の窓ガラス一面に水滴（露）が付くのと同一原理です。本機やカードを温度・湿度差の大きいところへ移動したときに起こります。

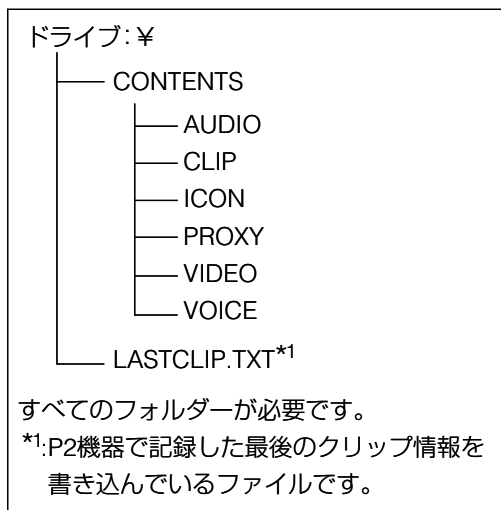
- ・ 湯気が立ちこもる湿度の多いところや、暖房を入れた直後の部屋へ移動したとき
- ・ 冷房を入れているところから急に温度・湿度の高いところへ移動したときこのようなところへ移動したときは、すぐ電源を入れずに、10 分程度放置したままでお待ちください。

P2 カードのデータの取り扱いについて

P2 カードはプロフェッショナル映像制作・放送用機器 "P2HD シリーズ" の記録メディアに採用した、半導体メモリーカードです。

- P2 フォーマットの記録データはファイル形式のため、パーソナルコンピューターとの親和性にすぐれていますが、そのファイル構造は独自フォーマットであり、MXF ファイル化される映像、音声データだけでなく、様々な重要情報が含まれており、右のようなフォルダー構成にて関連付けられています。

これらの情報が一部分でも変更、または削除されると、P2 データとして認識できない、もしくはカードが P2 機器で使えなくなるなどの不具合が発生する場合があります。



- P2 カード内のデータをパーソナルコンピューターなどに転送したり、パーソナルコンピューターに格納したデータを P2 カードに書き戻す際は、情報の欠落を防ぐために、必ず専用ソフトウェア「P2 ビューアー」をホームページよりダウンロードし、お使いください。ホームページのアドレスは 48 ページに記載しています。
- Microsoft Windows Explorer や Apple Finder など、一般の IT ツールを使用してパーソナルコンピューターに転送する場合は、下記のように行ってください。なお、P2 カードへ戻す場合は、必ず P2 ビューアーをご使用ください。
 - ・ CONTENTS フォルダと LASTCLIP.TXT ファイルごとに行ってください。CONTENTS フォルダ以下は、操作しないでください。コピーするときは、CONTENTS フォルダと同時に LASTCLIP.TXT ファイルも行ってください。
 - ・ 複数の P2 カードをパーソナルコンピューターに転送する場合、同一クリップ名の上書きを防ぐため、P2 カードごとにフォルダを作成してください。
 - ・ P2 カード内のデータ消去は行わないでください。
 - ・ フォーマットする場合は、必ずお使いの P2 機器、もしくは P2 ビューアーにて行ってください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンス

などのご相談は、まず、
お買い上げの販売店
へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

※内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保存してください。

万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。保障期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、この“モバイルストレージユニット”の補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保守・点検

保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。

部品の劣化、ごみ、ホコリの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を推奨いたします。保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■保証期間中の修理は…

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理は…

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

当社ホームページについて

当社ホームページにはSSDの接続確認や最新のドライバーなど各種情報を掲示しています。また取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、下記のホームページよりご覧ください。


日本語：<http://panasonic.biz/sav/>

英語：<http://pro-av.panasonic.net/>

定格

【総合】

電源電圧：DC 7.2 V / 7.9 V
消費電流：1.1 A

 は安全項目です。

外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）：

99 mm × 58 mm × 212 mm
（突起部は含まず）

質量： 約 770 g
（SSD およびバッテリーを除く）

動作電源電圧：

バッテリー DC7.2 V
AC アダプター DC7.9 V

動作周囲温度：

0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度：

10 % ~ 80 %

保存周囲温度：

- 20 °C ~ 60 °C

保存周囲湿度：


85 % 以下

インターフェース：

USB2.0 HOST × 1
（Type A、バスパワー対応）
USB2.0 DEVICE × 1 (Type mini B)
eSATA HOST × 1
P2 カードスロット × 1
インターフェースボックス AG-MBX10G
専用スロット × 1

【AC アダプター】

定格入力：100 V - 240 V AC、50 - 60 Hz
0.55 A
45 VA (AC100 V 時)
53 VA (AC240 V 時)
定格出力：7.9 V DC、2.53 A

 は安全項目です。


外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）：

42 mm × 31 mm × 104 mm

質量： 220 g

【充電器】

定格入力：100 V - 240 V AC、50 Hz / 60 Hz
26 VA (AC100 V 時)
36 VA (AC240 V 時)
定格出力：8.4 V DC、1.2 A

 は安全項目です。


外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）：

70.0 mm × 44.5 mm × 116.0 mm

質量： 160 g

【インターフェースボックス】

電源：DC 5 V (USB2.0 バスパワーで給電)

 は安全項目です。

外形寸法（幅）×（高さ）×（奥行）：

76 mm × 18 mm × 145 mm

質量： 135 g (SSD を含まず)

動作周囲温度：

0 °C ~ 40 °C

動作周囲湿度：

10 % ~ 80 %

保存周囲温度：

- 20 °C ~ 60 °C

保存周囲湿度：

85 % 以下

インターフェース：

USB2.0 (Type mini B) × 2
eSATA × 1
モバイルストレージユニット
AG-MSU10 接続用端子 × 1

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

